

わが家のキウイ

我が家では2種類4本のキウイを育てています。1種類は、名前は忘れましたが、果肉が緑のもので、もう一方は果肉が紅いもの(コウヒとマック?)です。育て方は2階のベランダ上に足場パイプを組み、夏の日陰としても活用しています。今年初めて果肉が紅いキウイも実がなり、両種あわせて500個以上収穫できました。



図1 日除けを兼ねた棚



図2 果肉が緑の品種



図3 果肉が紅の品種

果肉が紅い品種は実付きが極めて良く、摘果をしなかったため収穫後の質量は50グラム程度でした。また、この品種は追熟しないでも外皮の色が緑から黄色に変われば食べられるとのことでしたが、今年はそれを知らずに、果肉が緑の品種と同時に収穫し、追熟しましたが、大変甘くなりました。

追熟方法はいろいろあるようですが、今年は密封した袋に20個ずつ入れて室内に放置し、実が柔らかくなるのを待つ方式としました。11月初めに追熟を開始しほぼ1ヶ月後には大体食べられるようになりました。しかしながら、袋によってはなかなかやわらかくならないものもありました。果肉が紅いものの一部は追熟に約2ヶ月を要しました。最も追熟に時間がかかったのは雄木になった実でした。

私の家のキウイのうち果肉が緑の品種は雄木にも実をつけます(雌木の実より丸い形をしている)。今年初めての実験としてこの実を追熟させてみました。なかなか柔らかくならないので、窓辺の日の当たるところに袋ごと置いて追熟させたところ、柔らかくなり、甘みは通常の雌木から収穫したものより劣りますが、おいしく食べられることが判りました。この実が食べられると判ったことが今年度の発見です。

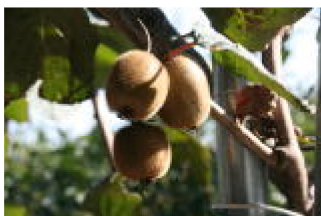


図4 雄木に実ったキウイ

2008年12月